



「猛暑」を「探究」してみました

猛暑が続きます。本日は朝から30度を超え、14時現在、34°C・WBGT値32.1で運動中止状況です。明豊野球部による5年生へのボール投げ講習会も、やむなく中止としました。

冒頭猛暑と書きましたが、暑さを表す言葉は多様で、酷暑、烈暑、炎暑、焦暑、極暑などいくつもあります。高温多湿な日本では、古来、暑い、暑いと言いながら様々な漢字を用いて、表現してきたのでしょうか。

試しにと思い、チャットGPTに、それらの表現がどのくらいの温度を指すのか整理させたところ、次のような表にしてきました。様々な情報の中で使われた状況から整理したようです。

暑さの表現	おおよその気温	例や感覚の説明
酷炎	40°C以上	焼けるような日差しと滝汗、外に出られないレベル
酷暑	35~40°C	日本の猛暑、外出困難なくらいの暑さ
烈暑	34~39°C	非常に暑い、激しい汗
極暑	33~37°C	強烈な暑さの範囲
炎暑	35~38°C	炎のイメージ、強烈な暑さ
燥暑	35°C前後	乾燥した暑さ、汗は少なめ
焦暑	36~39°C	焦げるような暑さ
厳暑	33~36°C	堪える暑さ
猛暑	34~39°C	長期間の強い暑さ



夏目漱石著『吾輩は猫である』には、「暑い日であった。どこまでも続く暑さに、猫も人も、みなげんなりしている。」という文章があります。また、川端康成著『伊豆の踊子』には、「夏の海は青く、風は心地よいが、日差しは激しく、海辺の町も暑さに溶けている。」とあります。このように、日本文学や隨筆には、夏の暑さや風物詩をテーマにした多彩な表現があります。

では、『吾輩は猫である』の文章場面の気温を推定してみます。舞台は明治時代の東京。暑い日その他の作中の言葉から盛夏と分かれます。当時の気候や気温を調べてみると、夏30°C以上の日が多く、35°C以上の日も珍しくなかったようで、現在と同じかそれ以上だったようです。「どこまでも続く暑さ」から、連日続くという空間的かつ時間的な連続から連日の35°C超えを想像します。

以上のことから、盛夏7月中旬～8月の約34～39°Cの「猛暑」の続く日と推定しました。同様に『伊豆の踊子』も、盛夏と考えられますが、風の表現からやや温度が低い「厳暑」とみました。

「猛暑」をテーマに、自分で探究をしてみました。

課外クラブ～まだ募集中：プログラミング・ラグビー・サッカー・書道・珠算・英会話・理科実験～

<ラグビー> NEW!



- *木曜日実施
- *指導は、別府ラグビースクールから専門コーチ
- *学童途中からも参加可
- *月謝 2000 円

<理科実験>



- *木曜日実施
- *指導は、慶林館から専門講師
- *実験種類刷新！
- *月謝 5500 円

【7月～9月初旬の行事予定】

- 7月 1日（火）：水泳（低中高） 授業参観・懇談会（中）
2日（水）：水泳（低中高） 授業参観・懇談会（低）
3日（木）：水泳（低・中） 授業参観・懇談会（高）
4日（金）：漢字検定
7日（月）：七夕集会（3・4校時）
8日（火）：児童会朝礼 国連職員古田さん授業（6年）
9日（水）：水泳教室予備日
10日（木）：水泳教室予備日
17日（木）：保護者の会役員会（14時～）
18日（金）：一学期終業式
21日（月）：海の日（祝日）
22日（火）：夏季パワーアップ学習 算数の自由研究相談会
23日（水）：夏季パワーアップ学習 算数の自由研究相談会
24日（木）：夏季パワーアップ学習 算数の自由研究相談会
25日（金）：校内研修（國學院大三田教授来校）

※6月30日現在

- PU（低・高）
PU（低・中）
PU（低中高）
PU（最終日）



ピアノクラブのレッスン
*指導は太田先生

◎盆期間8月9日（土）～17日（日）は学校閉庁日です。学校への緊急連絡や重要なお問合せがあれば、[メール myojo-es@ctb.ne.jp](mailto:myojo-es@ctb.ne.jp)宛にお願いします。

8月20日（水）：筑波大学附属盛山先生公開授業（4年生・ビーコン）

- 25日（月）：校内研修（短大内海教授来校）
27日（水）：夏季パワーアップ学習 算数の自由研究相談会
28日（木）：夏季パワーアップ学習 算数の自由研究相談会
29日（金）：夏季パワーアップ学習 算数の自由研究相談会

9月 1日（月）：始業式

5日（金）：校内研修（文部科学省登本調査官来校）

9日（火）：懇談会（低）

10日（水）：懇談会（高）

11日（木）：懇談会（中）

20日（土）：第2回オープンスクール（音楽集会、授業参観）



珠算クラブ（只今募集中）
*木曜日実施 *月謝 3500 円
*指導は、珠算連盟から専門講師